

「地域食料自給率計算シート」について

1. 地域食料自給率計算シートとは

「地域食料自給率計算シート」（以下、「シート」という。）は、食料自給率を身近なものとして捉えて頂くため、地域の人口と主要な農産物等の生産量を入力することにより、その地域のカロリーベース食料自給率及び生産額ベース食料自給率（以下、「地域食料自給率」という。）を簡易的に試算できる EXCEL 用のファイルです。

2. 試算の前提

- （１）地域食料自給率は、その地域に住む人々が消費する食料が、その地域で生産された農産物等により、どの程度賄われているかを表すものです。
- （２）しかし、実際にその地域に住む１人ひとりの食事量やカロリー等を計測し、そのうち地域産の食材が含まれる割合を把握することは、一般に困難です。
- （３）このため、地域食料自給率の試算は一定の前提を置いて行う必要がありますが、このシートでは、
 - ① カロリーベースの分母となる１人・１日当たり総供給熱量は、地域によらず、全国平均値（令和６年度（概算値）の場合、2,248kcal/人・日）とする。
 - ② 生産額ベースの分母となる地域の食料の消費仕向額は、地域によらず、人口に比例するものとする。
 - ③ 分子となる１人・１日当たり地域産供給熱量及び食料の生産額は、地域で生産される農産物の生産量等に比例するものとする。という仮定を置いて試算を行っています。

3. 計算方法

地域のカロリーベース食料自給率（％）＝

$$\frac{1人・1日当たり地域産供給熱量(kcal/人・日)}{1人・1日当たり総供給熱量(kcal/人・日)}$$

地域の生産額ベース食料自給率（％）＝

$$\frac{\text{地域産の食料の国内生産額(万円)}}{\text{地域の食料の国内消費仕向額(万円)}}$$

(1) 1人・1日当たり地域産供給熱量は、

Σ (地域産農産物の生産量等÷全国の農産物の生産量等×全国の国産供給熱量) で試算しています。

(全国の国産供給熱量は、令和6年度(概算値)は860kcal/人・日)

(2) 地域産の食料の国内生産額は、

Σ (地域産農産物の生産量等÷全国の農産物の生産量等×全国の食料の国内生産額) で試算しています。

(全国の食料の国内生産額は、令和6年度(概算値)は12兆8,270億円)

4. シートの使い方

(1) 「入力シート」に地域名、地域内人口を記入して下さい。

人口は令和6年10月1日現在とし、1人単位で入力して下さい。

(2) 「入力シート」に各品目の生産量等を記入する。

① 生産量等の計測期間は年産または会計年度とし、トン単位で入力して下さい。(単位未満は四捨五入して下さい。)

② 肉類については枝肉ベースの生産量、海藻類は乾燥重量(生鮮重量×0.2)、きのこ類は生鮮重量(乾しいたけは乾燥重量×7、きくらげは乾燥重量×10)を記入して下さい。

③ 畜産物の生産量が得られない場合は、地域が属する都道府県全体の生産量×地域の飼養頭羽数÷地域が属する都道府県全体の飼養頭羽数で推計して下さい。

(3) 入力後、「出力シート」に試算結果が表示されます。

(以上)